

## 県政報告

令和3年

## 佐々木 幸士

日頃よりの温かいご支援に心より感謝申しあげます。

おかげさまで、県政の場にお送りいただき4期目となる毎日も全力で政治活動をさせていただいております。

さて、新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、県民の皆さまや事業者の皆さまの悲痛なお声を日々お聞きしております。百年に一度といわれる国難のもと、国、そして、県政のど真ん中に皆様のお声を届けるため、日夜政策提言や要望活動を続けているところでございます。

安心と賑わいのある日常を取り戻すためには、医療体制の拡充とワクチン接種をさらに加速化させ、治療薬の早期実現などウイルスと共存していくためのセーフティーネットを確保することが重要であると考えます。

そして、こうした社会的背景を確保しながら、この苦境下を乗り越えるための施策、皆さまが当たり前の日常に戻れるよう力強く支える施策、県民生活・地域経済へのきめ細かい支援策を形にするため、さらなる活動の傾注に努めて参りますので、皆さまのお声、お力添えを引き続き賜りますよう何卒宜しくお願ひ申しあげます。

この度の県政報告は、コロナ関連政策については日々更新され、報道でも伺い知ることができますことから、宮城の未来の形ともいえる宮城県政の最前線の各施策に内容を絞った県政報告とさせていただきました。

是非、ご一読いただければ幸いに存じます。

宮城県議会議員（太白区） 佐々木 幸士

提言

## 障がい者の就労機会の拡大と工賃向上を求めました！

## Q. 令和3年2月質問にて

宮城県が最終的に目指す平均工賃月額4万円の達成に向け、社会全体でこの課題を共通認識することはもとより、県自らが発注する際にも、その重要性を深く認識することが何より大切であります。令和2年度は、フェイスシールド5,000枚を共同受注窓口を通じて、就労継続支援事業者から購入しておりますが、令和3年度以降も県からの発注を継続し、この取り組みを加速させていくべきと考えますが、ご所見をお聞かせください。



宮城県が示す 最低生活費 月額 106,324 円	必要な工賃 月額 41,380 円	増加が必要な工賃 月額 23,518 円	現状とこの度の提言の要点
障害基礎年金 (2級) 支給額 月額 64,944 円	宮城県平均工賃 月額 17,862 円	障害基礎年金 (2級) 支給額 月額 64,944 円	

自立するための最低生活費の内訳 実績（平成29年度）



この質問後、改善策の具体策として、共同受注窓口である「NPOみやぎセルフ協働受注センター」皆さまとの会派研修会を重ね、令和4年度に迎える「県制150周年記念事業」における記念品の作成など、共同受注窓口を通じた就労継続支援事業者の活用を宮城県への要望も行いました。障がいがあっても、当たり前のことを行える地域社会のサポートとして、障がい者の就労機会の拡大と工賃月額の向上のため、皆さまとともに活動して参ります。

# 宮城県の未就学児の現状と私立幼稚園の振興への取り組み

	幼稚園	保育所	認定こども園(新制度)
役割	学校(教育)	児童福祉施設(保育)	学校+児童福祉施設
所管庁	文部科学省	厚生労働省	内閣府
園数	国立 → 1園 公立 → 73園 私立 → 158園  合計：232園	認可保育所(公) → 156園 認可保育所(私) → 267園 小規模保育施設等 → 288園 認可外保育施設 → 278園  合計：989園	幼保連携型 → 61園 幼稚園型 → 8園 保育所型 → 6園 地方裁量型 → 2園  合計：77園
園児数	25,704人	40,266人	6,351人
設置者への補助	運営費補助金(私学助成) 施設型給付費(新制度)	施設型給付費 地域型保育給付費	施設型給付費
保護者への補助	保育料無償化	3～5歳児 → 保育料無償化 0～2歳児 → 住民税非課税世帯は無償化 (上記以外は所得に応じた保育料負担)	3～5歳児 → 保育料無償化 0～2歳児 → 住民税非課税世帯は無償化 (上記以外は所得に応じた保育料負担)

※令和3年2月現在

## 報告 01. 私立幼稚園の運営補助金の改善

私は宮城県私立幼稚園P T A連合会会長もさせていただいております。県内私立幼稚園における運営補助金の所管は宮城県となっていることから、今年も宮城県私立幼稚園連合会の皆さんと一緒に経常経費や人材確保処遇改善のための要望をさせていただきました。県として要望を前向きに捉えていただき、園児1人あたりの学校法人幼稚園運営補助金の推移は下記のとおりで拡充傾向で推移しております。

	平成23年	平成28年	令和2年	令和3年
学校法人幼稚園運営補助金	166,670円	176,217円	184,800円	186,972円



※園児1人あたり、10年前より約20万円、毎年約2000円アップしております。

## 報告 02. 幼稚園教諭の人材確保支援の拡充

平成29年度より、幼稚園教員の人材確保に関する取り組みとして、給与改善を行った学校法人に対し、教員1人あたり年額48,000円(月額4,000円)を上限に補助する制度が制定されましたが、令和2年度からは、制度の上限額が1人あたり年額60,000円(月額5,000円)に拡充されました。



## 報告 03. 幼稚園における新型コロナ感染症対策の支援継続

新型コロナウイルス感染症対策を徹底するため、令和2年度は1園あたり100万円、令和3年度は保健衛生用品等の購入費として、50万円の支援が継続されることになりました。

# 子供は社会の宝。子供子育て支援の拡充へ！更なるこれからの取り組み

## 報告 01. 「幼児教育センターの設置」が実現!! 令和3年4月

これまで平成30年9月、及び令和2年3月の県議会一般質問において、幼児教育・保育の質の向上と、幼稚園・保育所・認定こども園等から小学校への進学を円滑に行うため、幼児教育センターの設置を求めて参りました。

そして、この度令和3年4月、幼稚園・保育所・認定こども園等における幼児教育の質の充実と、「研究」「研修」「支援」の3つの取り組みを行うことを目的として宮城県の幼児教育の拠点が教育庁義務教育課に設置されることになりました。



## 報告 02. 自由民主党・県民会議「子ども・子育て議員連盟」会長に就任 令和3年6月

宮城県の「新・宮城将来ビジョン」においては、新たに「社会全体で支える宮城の子供・子育て」が政策推進の基本方向に設定されました。これにより、子供子育て政策がさらに注目されるようになりました。地方行政の現場では、多様な相談や家庭教育支援の充実などに関する要望が日々寄せられております。また、妊娠、出産、保育、教育、医療、福祉、児童虐待、非行、貧困、いじめ、不登校、事故など、多岐にわたる要望や相談を適切に対処する一元的な窓口を設置することや、必要な施策を進める上で財政的な支援を強化することを県議会として国に求めるため、「子供政策の充実を求める意見書」を令和3年6月定例会にて可決成立致しました。



## 報告 03. 「Children Firstの子ども行政のあり方勉強会」北海道・東北ブロックのメンバーへ就任!! 令和3年5月

子ども行政のあり方勉強会と、「こども庁」創設に向けた議論を行う場として、令和3年2月に、「Children First の子ども行政のあり方勉強会」が発足し、北海道・東北ブロックの代表として、参加させていただいております。

現在の我が国では、子供・若者を取り巻く状況が悪化し、課題が山積しております。昨年の児童生徒の自殺者は統計開始以来過去最悪の499人、虐待相談対応件数は、約19.4万人、いじめ重大事態は前年比121件増の723件、小中学校における不登校児童は過去最多の約18.1万人と、最悪の数字が並び、まさに子供のおかれた現状は緊急事態であります。これら課題への取り組みや「こども庁」創設の議論推進に向け、北海道・東北ブロック、宮城の子育ての現場の声を発信して参ります。



子供の問題を解決するためには「縦割り×横割り×年代割り」の打破と子供関連予算の増額が必要であります。



縦割り	担当省庁の壁(子供関連予算一元化・自殺の原因・虐待対応・幼保分離等)
横割り	市町村(1470)・都道府県(47)
年代割り	周産期、妊娠出産時の切れ目・就学前後切れ目での学力格差・学童保育問題

「子供を持ちたい」「育てたい」「温かい家庭を築きたい」と願う皆さんに寄り添った「子供を産み育てやすい社会」を再構築していかねばなりません。子供子育て施策の拡充のため、全力を尽くして参ります。

# 地域で支える子供達の可能性と明るい未来のために!

報告 01.

## 秋保地区に県立特別支援学校が新設されます 令和6年4月開校

仙台圏域における知的障がい特別支援学校の狭隘化の解消を図るとともに、今後も増加傾向にある軽度の知的障がいを持つ生徒の学びの場を確保し、地場産業の人材供給に資する実践的職業教育の充実を図るために、事業費 89 億 3,900 万円の予算を投じて、仙台市秋保地区湯元(旧拓桃支援学校・旧拓桃医療療育センター跡地)に特別支援学校が令和 6 年 4 月に新設されます。



### 学校規模

学級数			通学方法
小学部	12 学級	54 人	スクールバス又は保護者の送迎
中学部	6 学級	27 人	
高等部(普通科)	6 学級	33 人	自力通学(※場合により小中部と同様)
※高等部(産業技術科)	12 学級	96 人	自力通学(※寄宿舎に 3 年間入寮)
計	36 学級	210 人	

※高等部(産業技術科)の専門教科 ・ ホテルビジネスコース・食品製造コース・流通サービスコース・介護福祉コース

### 新設される学校設備

校舎



4F 小学部 / 中学部 / 高等部普通科  
2F 高等部産業技術科

寄宿舎



生活訓練棟



### 今後のスケジュール

令和元年 6 月～令和 3 年 7 月

基本・実施設計

令和 3 年 8 月～令和 6 年 3 月

建設工事

令和 6 年 4 月～

供用開始予定



Point Check

仙台圏域における知的特別支援学校(小松島・名取・光明支援学校)狭隘化の解消は県政の重要課題の一つでありました。平成 28 年、本件に関する請願が県議会において採択され、そして、平成 29 年 6 月の私の一般質問において、障がいを持つ児童生徒や保護者の皆さまからの切実なお声を代弁させていただき、知事より秋保地区に知的特別支援学校を新設する方向性が示されました。いよいよ本年 8 月より建設工事が始まります。地域の皆さまの温かいご理解とご支援を頂きながら、秋保地区的地域活性化はもとより、東北屈指の職業訓練知的支援学校として学習内容を充実させ、生徒一人一人が社会的・職業的に自立が図れるよう支援を続けて参ります。

報告 02.

## 私立高等支援学校仙台みらい学園が開校しました 令和3年4月開校

近年急増している中学校の特別支援学級の生徒の進学先の一つとなる私立高等支援学校が旧県教育研修センター(仙台市青葉区荒巻青葉)に新設されました。この学校は軽度の知的障がいを持つ生徒を受け入れ、就労支援や就職に向けたキャリア教育に取り組むための私立高等支援学校です。宮城県としても、令和 2 年度に施設の新築及び改修経費の一部を補助する経費として、4 億円が予算執行されております。

高等部 本科 3 年間	芸美・食農・福祉・サービスの 4 コース
専攻科 2 年間	県内外の高等学園や特別支援学校卒業生も入学可能

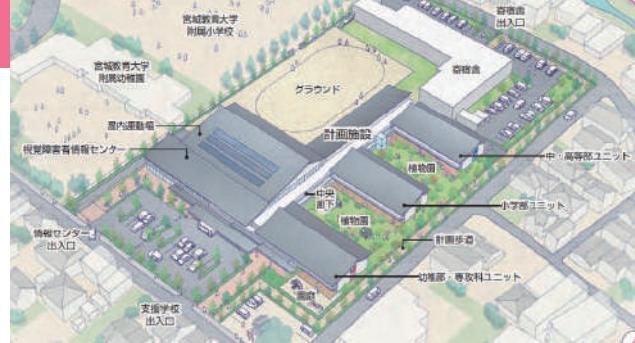
老朽化が著しい視覚支援学校（仙台市青葉区上杉）の施設を改築するにあたり、現在併設されている宮城県視覚障害者情報センターとの一体化を図ることで、視覚障害者にとってより利便性が高く、多機能かつ効率的な複合化施設が整備されます。事業費は約48億円で、令和6年度中に新校舎・新情報センターが供用開始される予定です。

### 学校規模

幼稚部 ※新設	3学級	高等部(保健理療科)	3学級
小学部	8学級	専攻科(理療科)	3学級
中学部	4学級	専攻科(保健理療科)	3学級
高等部(普通科)	6学級	計	30学級

### 今後のスケジュール

令和3年度	基本・実施設計 仮設校舎・仮設情報センター建設
令和4年度～令和6年度	既存校舎・情報センター解体 新校舎・新情報センター建設
令和6年度中	新校舎・新情報センター供用開始
令和6年度～令和7年度	仮設校舎・仮設情報センター解体 外構・グランド整備工事



令和元年9月の私の代表質問において、視覚障がい教育では幼児期からの専門的な教育支援が重要であることや、さらに東日本地域において視覚支援学校に幼稚部が設置されていないのは現状で宮城県と福島県のみである実状を指摘し、視覚障がいのある子供達の早期からの教育環境の充実を求めていただき、知事が幼稚部を新設する方向性が示されました。そして、令和3年度予算に、幼稚部設置にむけた備品購入費の予算が計上され、今後仮設校舎が完成する令和4年4月に幼稚部が開設される予定です。

聴覚支援学校（仙台市太白区八本松）の教育環境整備については、第2期県立特別支援学校教育環境整備計画の中で重要な課題であるとの認識が示されつつも、これまで長らく具体的な方向性は示されて来ませんでした。

令和元年9月の私の代表質問において、長期にわたり生徒が使用することが出来なかったプールの整備や、大学進学を望む生徒のための普通科新設を求めてさせていただき、いずれの問題についても整備、新設の方向性が示されました。

プール整備	令和2年の3月に完成し、令和3年度より供用開始
学科再編	令和3年度中に普通科の新設と職業科2科の具体的な案を決定し、その後、聴覚支援学校再編基本方針を策定の上、改築時期などを含めて検討していく。



県立聴覚支援学校は、昭和40年代に建設された県内では最も古い建物であり、これまで、建てかえを含めた教育環境整備の議論をして参りました。

現在、聴覚に障がいを持つ児童生徒数の推移は減少傾向にあり、また、産業構造の変化に伴い、卒業後の進路についても多様化している状況などを踏まえながら、学校規模や高等部や専攻科の学科のあり方などについて、関係者とヒアリングを行い、今後再編基本方針の策定や改築整備計画を求めて参ります。

# 国道4号線仙台バイパス(筆ノ瀬～鹿の又)の渋滞緩和へ！

## 事業概要

### 全体事業費

全体事業費：約 400 億円

交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を目的とする、立体4車線・平面4車線による立体化事業です。

### 起終点

太白区郡山～太白区東郡山

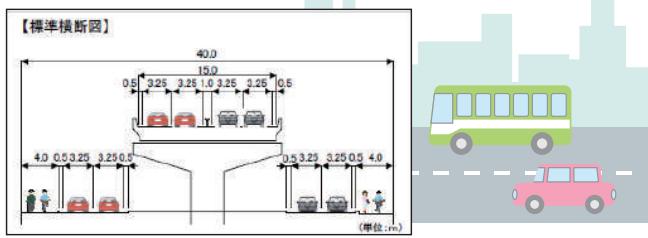
### 延長等

1.6 km

## 山積してきたこれまでの課題

- この区間の交通量は、東北地方の直轄国道で第2位の渋滞区間となっています。
- 交通混雑を起因とする交通事故(右折事故・追突事故等)が多発しているエリアとなっています。
- 仙台市立病院への緊急搬送活動の阻害は命に関わる重要な問題です。

## 一般国道4号仙台拡幅(筆ノ瀬～鹿の又)に係る新規事業採択時評価



国道4号線仙台バイパスと接続する元寺小路郡山線は、八本松地区内で著しい渋滞が発生しており、その解消が地元の切実な課題でもありました。

この課題解消に向けて、土井とおる衆議院議員とともに、国へ要望してきた大型公共事業が事業採択され、いよいよ今年度からスタート致します。

今年度には調査設計（予算1億円）が実施され、その後順次、測量・基本設計を行い、工事が行われていく予定です。地元の皆さまのご理解のもと、スピード感のある事業の進捗のため予算の確保に努めて参ります。



# 秋保(野尻地区)の魅力・活力を宮城の未来へ！

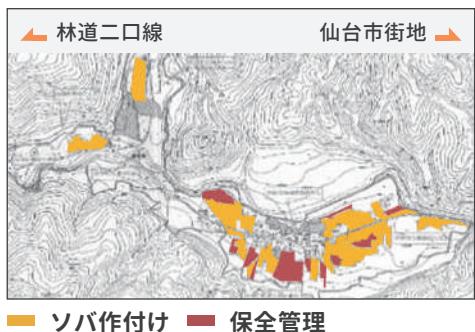
秋保野尻地区は、太白区秋保に位置する標高300mを超える山間地域であります。山形県山寺へ通じる林道二口線周辺の未整備区画に約20ヘクタールの農地を有する農村地区であります。

しかし、その一方で地区の高齢化が進んでいるという課題も抱えております。幹線的用水路は整備されているものの、地区内は未だ土水路であり、草刈り作業や用排水管理、農作機械のすれ違い不能や農道の行き止まりなど、宮農活動に様々な支障が生じていることから、農地整備事業の要望をいたしましたが、この度、新たな取り組みがスタートします。

## これまでの取り組みと今後のスケジュール

令和2年度	現地調査・計画平面図(案)作成
令和3年度	基本設計・にんにくの試験栽培
令和4年度	土地改良法の手続き開始
令和5年度	新規事業採択予定

## ▶ 現在の作付け状況



品目	畠 (ha)	水田 (ha)	耕作者
そば	2	9	(農)あきう生産組合
水稻		1	農家3名
野菜	1		自家消費用
保全農地	7		
合計	10	10	



国農地中間管理整備事業(調査費)予算1,790万円を活用し、あきう生産組合が一括管理のもと、段差のある狭小な農地を整備することが決まりました。今後は、農作機械の使いやすい効率的な営農が可能となる見込みです。

あきう生産組合は、「秋保在来そば」「あきう米」「大豆」の栽培を経営の3本柱に、地域活性化と農業振興に取り組んでおり、平成30年に第8回オリザ賞準大賞を受賞し、県内地域農業を代表する団体です。

中山間地域の耕作放棄地を解消し、鳥獣被害の軽減により営農意欲を高め、全国有数の温泉地である秋保を中心、「野尻そば」の生産拡大と6次産業化を進めるブランド化を推進のため、今後も応援して参ります。

## 全ての県立学校へエアコン整備が完了！

平成30年9月、県立特別支援学校及び県立高等学校普通教室へのエアコン導入の一般質問を行いました。

令和元年9月、文部科学省が公表した公立学校施設の空調（冷房）設備の設置状況調査によれば、宮城県のエアコン設置率は、47都道府県中ワースト3位となる3.6%で全国平均の83.5%を大きく下回っておりました。

その後令和2年2月、宮城県高等学校PTA連合会から「県立高等学校普通教室へのエアコンの早期設置を求める要望書」を提出。

さらに令和2年7月、自由民主党・県民会議、公明党県議団、21世紀クラブの3会派にて村井知事へ「県立高等学校へのエアコン設置を求める要望書」を提出。



Point Check 近年の地球温暖化により、夏季の暑さは厳しさが増しております。

生徒が1日の大半を過ごす普通教室の温度は学習する環境としても非常に厳しい状況にあり、学習意欲や集中力の低下、さらに健康面への影響が懸念されておりましたが地方創生臨時交付金を活用し、右記のとおりに積年の課題でありました、全ての県立学校へのエアコン整備が完了することになりました。

県立特別支援学校

令和2年度8月  
※分校を含めて全て整備完了

県立高等学校普通教室

令和3年度中(整備完了)  
※校舎改築、建築中の高等学校の一部は除く

# 旧笊川に排水機場(太白区郡山地区)が整備されます! 令和8年度 運用開始予定

宮城県仙台市太白区の旧笊川・谷地堀は、令和元年台風や平成27年関東・東北豪雨において、床上・床下浸水が2度にわたる浸水被害を起こした河川であります。

令和2年6月北目町内会、郡山南町内会の両会長と太白区選出の超党派の議員にて、旧笊川と名取川合流点への排水機場の早期設置に関する要望書を村井知事へ提出。その後、令和3年2月の予算総括質疑においてこの課題を取り上げ、この度、県の排水機場整備(25メートルプールの水を約50秒で空にできる能力)と仙台市の谷地堀改修の整備事業が令和3年度の新規事業として採択されました。



旧笊川排水機場は、令和5年度の工事着手、令和8年度の運用開始を目指し、谷地堀の改修は令和7年度までに河道掘削等の工事を実施する予定です。

また、この間旧笊川流域全体で水害を軽減させるための取り組みとして、下図のとおり、流域治水対策も実施されます。

## 氾濫をできるだけ防ぐための対策

- ① 旧笊川排水ポンプ場の整備
- ② 谷地堀の改修
- ③ 郡山ポンプ場の増強
- ④ 長町第一ポンプ場の増強
- ⑤ 支障木伐採・堆積土砂の撤去

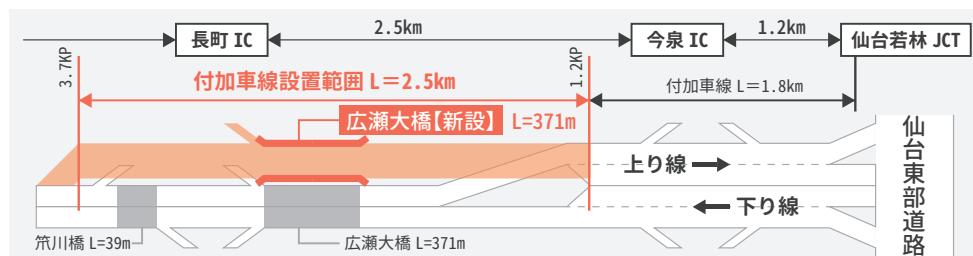
## 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑥ 簡易型河川監視カメラの設置・情報提供
- ⑦ 名取川出張所への排水ポンプ車配備
- ⑧ 排水ポンプ車要請



# 仙台南部道路が4車線化されます! 令和4年度開通予定

仙台南部道路は、仙台市若林区の仙台東部道路（仙台若林JCT）から、仙台市太白区の東北自動車道（仙台南IC）に至る、仙台都市圏環状自動車専用道路（ぐるっと都・仙台）の南側を構成している自動車専用道路（有料道路）であります。



## 提言

### Q. 平成27年11月定例会一般質問にて



国道286号線の仙台市太白区山田付近から人来田付近に至る交通渋滞の解消や、仙台南インターランクションに至る渋滞区間の緩和のため、仙台南部道路の4車線化が必要であると考えますが、ご所見をお聞かせください。



平成27年に一般質問を行って以降、関係者の皆さまのご努力により、現在、令和4年度の開通を目指して仙台南部道路の4車線化工事が進められております。

